

音楽とリハビリテーション研究会関東支部

第26回音楽とリハビリテーション研究会 (HAK-04042)

関東支部代表 澤田ゆき江

音楽療法の臨床に必要な二つのコミュニケーション

～音楽療法に必要な対人関係と自分との対話

(自分とのコミュニケーション、人とのコミュニケーション)～

残暑の候、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2015年度のテーマは「リハビリを効果的に行うためのコミュニケーション」です。今年度研究会第1回目は「植物と音楽」でした。今回は第2回目として上記をテーマにし、コミュニケーションの仕組みと臨床に必要な理論を学び、事例検討も行います。是非ご参加ください。

記

日程:2015年10月18日(日)10:00～16:30

場所:原宿会場(詳細はお申込み確認後お知らせします。)

講師:山根 寛(京都大学名誉教授、「ひとと作業・生活研究会」主宰)

参加費:会員 5,000 円、非会員 7,000 円

年会費:1,000 円 (毎年4月更新)

参加資格:①医療、福祉等の現場で音楽療法を実践中、あるいは実践したい方

②研究会に関心のある方

定員:30名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

申込み方法:下記の項目について otoriha@yahoo.co.jp までお知らせください。(会員は氏名のみ)

お申込みが確認できましたら、メールにて返信いたします。

- ① 氏名
- ② 職種・所属
- ③ ご住所
- ④ お電話番号・FAX 番号・メールアドレス
- ⑤ 臨床における悩みや質問

申し込み締め切り; 10月4日

2016年2月21日にはこのテーマの臨床編としてフォローアップ研修会を実施いたします